

真面目さと完璧主義は攻撃を生むのか

—規範意識と自己志向的完全主義傾向が攻撃性に与える影響について—

○多田奈穂¹・清水健司²

(¹ 広島国際大学大学院心理科学研究科実践臨床心理学専攻)

(² 広島国際大学健康科学部心理学科)

問題

コロナ禍において、マスク警察など正義感から攻撃的になった人々が問題視されていた。規範意識や完全主義が攻撃性に影響を与えていることを示唆する先行研究には池内(2006)等のカスタマーハラスメントに関する研究があるが、この他にも規範意識や完全主義が攻撃行動に影響を与える場面があるのではないかと考えた。そこで本研究では、完璧であることへの強い動機などの特徴があり(Hewitt & Flett, 1991)、高目標設定が言語的攻撃と関連する(齋藤・沢崎・今野, 2008)などの傾向が示されている自己志向的完全主義を用い、大学生を対象に、日常場面において規範意識と自己志向的完全主義が攻撃性に及ぼす影響を明らかにすることを目的とする。

本研究では、規範意識と自己志向的完全主義傾向がどちらも高い場合、攻撃性も高くなることを仮説として検討する。

方法

調査対象者

大学生 163 名(男性 99 名, 女性 64 名)に対して質問票調査とデータ分析を行った。平均年齢は 20.2 歳($SD=1.82$ 歳)であった。

手続き

本調査では、研究についての説明を行い、同意を得られた対象者に対して、大学の講義後に Microsoft forms を用いた、集合一斉調査を行った。

使用尺度

順守要求規範意識尺度(金子, 2007)

「公共規範欲求」因子(6 項目)と、「配慮規範欲求」因子(6 項目)からなる。「5:非常に気にさわる」から「1:まったく気にならない」までの 5 件法で回答を求めた。

完全主義尺度(MSPS)(桜井・大谷, 1997)

「完全でありたいという欲求(DP)」尺度(5 項目), 「自分に高い目標を課する傾向(PS)」尺度(5 項目), 「ミス(失敗)を過度に気にする傾向(CM)」尺度(5 項目), 「自分の行動に漠然とした疑いをもつ傾向

(D)」尺度(5 項目)からなる。「6:非常にあてはまる」から「1:全くあてはまらない」までの 6 件法で回答を求めた。

大学生用攻撃性尺度(磯部・菱沼, 2007)

「外顕性攻撃」尺度(12 項目), 「関係性攻撃」尺度(7 項目)からなる。「5:非常に当てはまる」から「1:全然当てはまらない」までの 5 件法で回答を求めた。

結果

攻撃性を従属変数とし、規範意識、自己志向的完全主義の交互作用、性別、年齢を独立変数として階層的重回帰分析を行った。その結果、DP が低い時($t(157)=1.83, p=.07$)と高い時($t(157)=-1.73, p=.07$)ともに関係性攻撃に対する公共規範欲求と DP の影響があった。また、DP が低い時($t(157)=2.99, p=.00$)に関係性攻撃に対する配慮規範欲求と DP の影響があった。D が低い時($t(157)=2.26, p=.03$)は、関係性攻撃に対する公共規範欲求と D の影響があった。CM が低い時($t(157)=1.82, p=.07$)と高い時($t(157)=-2.88, p=.01$)ともに、関係性攻撃に対する公共規範欲求と CM の影響があった。また、CM が低い時($t(157)=2.86, p=.01$)は関係性攻撃に対する配慮規範欲求と CM の影響があった。PS が低い時($t(157)=3.78, p=.00$)は、関係性攻撃に対する配慮規範欲求と PS の影響が認められた。

考察

本研究の結果から、規範意識と自己志向的完全主義傾向がどちらも高い場合、攻撃性も高くなるという仮説は支持されなかった。自己志向的完全主義傾向がある者は、規範を守らない他者に怒りを抱いても、齋藤・沢崎・今野(2008)より、他者からの拒否を避けるために行動に表さないことが考えられる。また、本研究では外顕性攻撃が高くならなかったが、この原因としては日本人の怒りの表出の際、抑制的で言葉では怒りを明示しない方法を多用する(木野, 2000)ことが考えられる。